

2月市長定例記者会見報告事項概要

平成24年2月17日(金) 15時30分～

1 予算案概要説明

(1) 財政環境

国の平成24年度経済見通しでは、本格的な東日本大震災からの、復興施策の集中的な推進などにより国内需要が成長を主導するとともに、主要国経済の持ち直しを期待し、緩やかな景気回復が見込まれています。

一方で、海外経済の更なる下振れや円高の進行、国内産業の空洞化の加速などの先行きリスクが示されており、今後も、経済、財政を取り巻く環境は、予断を許さない状況が続くものと予測されます。

本市においては、近年、基幹的収入である市税の減少が続いており、平成24年度においても、現下の厳しい景気や雇用情勢、地価下落の影響等により更なる減収となる見込となっています。

歳出においても、医療、介護などの社会保障関係の財政需要が増加し続けており、非常に厳しい財政環境に直面しています。

厳しい環境が続くことを見越し、行政資源の一層の効率化等を進めるなど、堅実な財政運営に不断に努める必要があります。

(2) 予算編成の基本的考え方

「市民参画と協働の推進」と「聖域なき行財政改革の断行」のもとで、第四次防府市総合計画の6つのまちづくりの大綱に基づく諸施策を着実に推進していくこととしています。

特に、「環境・観光・教育・防災・ローカルマニフェスト」の5つを最重要施策に掲げ、「ふるさと防府」の未来を切り開き、育んでいくための事業に予算の重点配分を行い、地域の活力を高める諸施策に積極的に取り組む予算

として編成しました。

(3) 予算規模

平成24年度の一般会計の当初予算規模ですが、388億8千9百万円で、防府市の予算として平成14年度に次ぐ2番目の予算規模となっています。昨年の編成方針で、400億円を超える規模の見込みと説明しましたが、廃棄物処理施設の補助事業の一部23億3千4百万円が国の平成23年度4次補正での対応となったことから、急きょ変更したものです。

(4) 歳入

歳入における市税及び地方交付税の状況ですが、「市税」については、地価下落の動向や設備投資の減等の影響を勘案し、対前年度比3.4%減の約156億9千万円となっています。

「地方交付税」については、地方財政計画に基づいて試算した結果、対前年度比15.7%増の40億5千万を計上しています。

「市債」については、廃棄物処理施設建設事業などの財源として、対前年度比103.7%増の約59億9千万円を計上しています。

(5) 歳出

歳出の主なものですが、「扶助費」については、子どものための手当に係る制度変更などにより、対前年度比2.6%減の約89億4千万円となっています。

「普通建設事業費」については、廃棄物処理施設建設事業がピークを迎えることなどにより、対前年度比71.3%増の約62億7千万円を計上しています。

「補助費」については、国民体育大会への補助金などが減となっていることから対前年度比14.5%減の約16億円となっています。

(6) 地方債残高

平成24年度末で、約390億円となる見込みです。私が市長就任時の平成10年度当時、440億円余り有った地方債残高について、市債発行の抑制策を講じ、地方債残高の減に取り組んだことから、廃棄物処理施設の整備を進めていくことができると思っています。

(7) 基金残高

今後の財政運営の備えとなります、財政調整基金と減債基金を併せて、平成23年度末では、約9億7千万円増の約53億8千万円となる見込みです。平成24年度予算では、大型事業等の財源として、財政調整基金から、11億9千万円の取り崩しを計上しています。

(8) 総合計画の体系に基づく予算額

一般会計、特別会計でそれぞれ、施策の推進予算額を計上しているもので、総額約827億円となります。

(9) 主要事業等

市民の皆様に、特にお知らせしたい主な取り組みをとして新規事業が21事業、内容等を充実して実施する拡充事業は、20事業となっています。

最重要施策として位置づけています、「環境」「観光」「教育」「防災」「ローカルマニフェスト」に関する主要な事業として39事業を計上しています。

「まちづくりの大綱」に沿って新規、拡充事業を中心に主な事業を説明しま

す。

【大綱の第一「自然環境への優しさと暮らしの安全を大切にするまちづくり」に関する事業】

「地球温暖化対策の推進」についてですが、東日本大震災を契機として、新エネルギーの利用と省エネルギー化のさらなる推進が求められています。

「住宅用太陽光発電システム」については、設置者が大幅に増加しており、設置費用も安価になってきているところですが、本市の助成については、補助単価を据え置き、地球温暖化に向けた取組みをさらに加速していくこととしています。

新規事業「電気自動車の導入」についてですが、本市の中心企業である「マツダ株式会社」が平成24年中に電気自動車を開発し、リース販売される予定です。この電気自動車を公用車に導入し、各種イベントや環境教育での活用も図ることとしています。併せて、「急速充電器」を市役所4号館前に設置し、広く市民の皆様や来訪者の方々に当面无料開放します。

「廃棄物処理施設の建設」ですが、ごみ発電による熱エネルギーの回収やごみの資源化等、循環型社会に対応した施設となるものでして、平成26年度の供用開始に向けて建設を進めます。

新規事業「水槽付消防ポンプ自動車の整備」ですが、最新の泡消化システムを装備した消防ポンプ自動車を導入し、多様化する災害に備え、消防力の向上を図ります。

防災対策に関するもので、新規事業の「被災者支援システムの導入」についてですが、阪神・淡路大震災で被災した西宮市が開発された被災者情報を一括管理できるシステムを導入するもので、災害時に、迅速に機能する災害対応力の向上を図ります。

「防災訓練・防災講演会の開催」についてですが、「市民防災の日」に、内閣府の中央防災会議の委員も務められておられる新潟大学の「田村圭子」教授を招き講演会を開催するとともに、防災週間に併せ、高潮を想定した防災訓練を実施します。

「防災ラジオの普及」については、コミュニティFMによる緊急告知放送を24時間対応できる体制に充実し、市内各家庭や事業所への更なる普及を図るものです。

拡充事業「自主防災組織の普及促進」については、いざというときに、市民や企業などが自ら、また、相互に補完しながら防災力を高めていく取り組みをより一層推進していく必要があります。自主防災組織に対する、ハード・ソフト両面からの助成や地域での防災教育や講演会などを引き続き実施するとともに、自主防災組織の結成などの支援を行う「支援協力員」を新たに2名配置し、防府市版ともいえる、真に実行力のある自主防災組織の普及促進を図ります。

【大綱の第二「健やかな日々と地域のぬくもりにみちたまちづくり」に関する事業】

新規事業「赤ちゃんの駅の整備」についてですが、新たにシンボルマークを公募し、ステッカーやのぼりを作成・配布し、公共施設や商業・観光施設への「赤ちゃんの駅」の整備を促進し、子育て環境の充実を図ります。

拡充事業「乳幼児の医療費無料化」については、4歳未満児の医療費助成について、昨年、所得制限を撤廃したところですが、更に、子育て環境の充実とこどもの健康保持増進を図ることとし、本年8月から小学校就学前までの児童の医療費を無料化するものです。

「乳幼児保健指導の充実」ですが、乳幼児の各年齢期に対応した健康相談等

をより一層充実したものとするため、新たに5歳児発達相談会を開催し、発達障害の早期ケアや円滑な就学への支援を行います。

新規事業「華浦留守家庭児童学級の建設」ですが、華浦小学校の入級希望者が増加していることから、新たに学校敷地内に留守家庭児童学級棟を新設し、2クラス体制で待機児童の解消を図ります。

拡充事業「がん検診の促進」ですが、各種がん検診に加え、新たに40歳以上の5歳間隔の節目の年齢の方に大腸がん検診の無料クーポン券の配布を実施するなど、がん検診の受診率向上に努めます。

二つの新規事業です。「認知症高齢者支援体制の整備」についてですが、「認知症地域支援推進員」を配置し、家族の方々を対象とした相談会の開催や関係機関との調整など、認知症高齢者やその家族の方々の支援を充実します。

「音声読み上げ装置の整備」については、文字情報を音声に変換するためのソフトや機器を整備し、視覚障害の方々に対する情報提供を充実するものです。

国民健康保険事業の拡充事業ですが、「医療費適正化への取組み」として、新たに、ジェネリック医薬品の普及を促進するため、事業を実施するとともに、特定健康審査や人間ドックの受診率向上のための取組みを進めます。

「被保険者証のカード化」については、被保険者の医療機関受診時の利便性向上を図るため9月の一斉更新に併せて、個人単位のカードに切り替えるものです。

【大綱の第三「豊かな心の育みと文化の薫りにあふれるまちづくり」に関する事業】

重点施策としている「教育」の中心となる取組みとして、最も力を入れて予算配分を行った施策です。

学問のまち「防府」創生を本市学校教育のスローガンとして掲げており、「学校教育の質の向上」、「安全・安心な教育環境の整備」、「一人ひとりがきらめく教育の推進」を柱として様々な角度から充実した教育を行います。「教育のまち日本一」を目指し取り組む新規、拡充事業について説明します。

拡充事業「学校支援員派遣事業」ですが、特別な支援が必要な児童生徒に対して、生活支援を行う「学校支援員」を25名から40名に、大幅に増員し、落ち着いて学習できる学級環境を保つための支援体制を充実します。

拡充事業「学校図書館活用促進事業」です。昨年、学校図書館司書を配置しましたが、これにより学校での本の貸し出し冊数が大幅に増えるなど、市内の各学校で行われている朝の一斉読書の取り組みと併せて、子どもたちの読書量が増加しています。中学校も含め、更なる学校図書館の魅力を向上し、読書を通じた教育の充実を図るため学校図書館司書を増員するものです。

加えて、新規事業の「学校図書館ネットワーク事業」により、学校図書館のネットワーク化に着手し、学校図書館機能をより有効なものに高めます。

拡充事業の「知能検査・学力検査事業」については、学力検査を、小学校3年生以上の全学年で実施するとともに、国が抽出校のみで行う全国学力・学習状況調査を全校で実施し、細部にわたる状況把握を行うなど、確かな学力の定着と向上に向けた取組みを進めます。

新規事業の「教育課程研究プロジェクト事業」により学力向上等を図るため、より効率的で効果的な教育課程の編成について、プロジェクトチームを結成し研究することとしています。

新規事業の「地域と育む学び舎づくり事業」については、保護者や地域の方々が連携して学校運営などに関わってもらうもので、全小中学校において、学校運営協議会を設置し、地域の教育力を学校教育に活かしていく取組みを進めます。

拡充事業の「よりよい学級づくりサポート事業」ですが、「ハイパーキューキュー」という学級集団の測定検査を行うもので、昨年度、一部の学年で実施し、現場の先生方から、「気になる子どもの早期発見につながり、予防対応ができた」などの高い評価を頂いていますので、新年度は、小学校4年生以上の全学年で実施することとしたものです。

「小中学校施設の耐震化」です。3月補正においても5校12棟の耐震補強工事を実施するところですが、新年度は、補強設計や右田小学校、桑山中学校の改築設計にも着手するもので、全力で学校施設の安全性確保に取り組めます。

新規事業「スポーツ推進計画の策定」については、本市が目指しますスポーツ推進の基本的な方向を定めるため、懇話会を開催し、2ヵ年で計画を策定するものです。

新規事業「市民プールの整備」については、老朽化のため閉鎖した、市民プールに替わるプール整備のあり方について、現在、検討委員会で検討いただいていますので、建設に先立ち地質調査を行うものです。

新規事業「全国山頭火フォーラムの開催」ですが、本年12月に生誕地の防府市において、第21回全国山頭火フォーラムが開催されます。種田山頭火生誕130年となる記念すべき年にあたることから、盛大な大会となるよう、できる限りの支援を行います。

「山頭火ふるさと館の整備」については、現在進めている基本計画の策定と平行し、全国に点在している掛軸等の山頭火資料の収集や、展示品の作製等を行います。文化活動を活性化するとともに、新たな街の賑わいが創出できる山頭火ふるさと館の一日でも早いオープンに向けた取り組みを進めます。

【大綱の第四「産業の活力とふるさとの魅力がみなぎるまちづくり」に関する

る事業】

農業振興に関する2つの拡充事業ですが「新規就農者の確保・育成」については、従来の支援に加え、青年就農給付金による助成を開始し、青年層の就農の定着を促進するものです。

「たまねぎの生産拡大」については、山口県の重点推進品目となっています。「たまねぎ」生産に対し、生産機械の導入経費に加え、価格変動の差額に対する助成を行い、生産体制の強化に繋げていくものです。

水産振興に関する拡充事業「ニューフィッシャーの確保・育成」ですが、新たに、就業初期の負担軽減として、漁船、漁具などの貸借への助成に加え、研修から就業までの一貫した支援体制を整備するものです。

新規事業「漁業集落環境整備計画の策定」についてですが、向島地区の排水対策や防災対策を進めるため、事業の採択・着手のための基本計画を策定するものです。

商工業の振興に関する、拡充事業です。

「企業誘致の推進」については、新たな産業の導入は、本市産業の活力の維持、向上のために非常に有効なものです。誘致活動を戦略的に行うため、データベースの活用を図るとともに、精力的な企業訪問等により、情報交換や情報発信力を強化するなど、組織体制の強化も含め、充実した企業誘致活動を展開します。

「売れるものづくりの推進」については、販路拡大に対する助成に加え、新商品などの開発に対しても助成することとしたもので、市内中小企業の新たな挑戦を支援します。

「住宅リフォームへの助成」ですが、本市におけます経済対策の一つとして、経済波及効果が非常に高い住宅リフォームに対する市内共通商品券による助成を引き続き実施します。

新規事業の「雇用再生計画の策定」ですが、現在、実施している市内企業へのアンケート調査や企業訪問で得た情報を基に、防府市版の雇用再生計画を策定し、雇用の促進と安定を図っていくものです。

観光振興に関する事業です。

拡充事業の「大平山山頂公園でのイベント開催」についてですが、山頂でのイベントをより充実したものとするため、山口短期大学との協働により家庭の日に親子ふれあい観光イベントを開催していくもので、ロープウェイ年間パスポート券などにより、山頂公園に何度でも訪れてもらえるイベントにしたいと考えています。

新規事業「右田ヶ岳登山者のための駐車場設置」ですが、複数の登山道を有し、県内外からも多数の方々が訪れる右田ヶ岳登山の利便性の向上を図るものです。

拡充事業「観光バスの春・秋運行」ですが、昨年秋に運行しました「定期観光バス」について、新年度は、春と秋の2シーズンに拡大することとしています。来館者が100万人を突破するなど、観光拠点として好評を得ているまちの駅「うめてらす」を核として観光地を巡るコースを計画します。

【大綱の第五「都市のうるおいと生活空間の快適さのあるまちづくり」に関する事業】

新規事業の「市営住宅の建設」ですが、老朽化した三田尻本町団地の建替えに着手するもので、単身者から家族向けまでの間取りによる、約20戸の市営住宅を計画しています。

拡充事業「民間住宅の耐震化促進」については、従来の補助方式から手続等が容易にできる診断員の派遣方式に制度を変更し、市内の住宅の耐震化への取り組みを促進します。

「公園の整備充実」についてですが、利用度が高い三田尻地区のモデル遊園及び佐波公園に多目的トイレを整備するなど、市民の憩いの場である公園の利便性の向上を図ります。

「歴史を活かしたまちづくり」についてですが、第1期整備計画の最終年度として、国分寺地区や多々良地区におきまして石張り舗装やポケットパークの整備、カラー電柱の設置など周辺の歴史的景観や町並みにマッチした整備を行います。

【大綱の第六「自ら担う喜びとみんなで支えあう力で築くまちづくり」に関する事業】

拡充事業の「離島航路旅客運賃の助成」についてですが、野島地区での日常生活の一助となるよう、運賃助成券の枚数を24枚に拡充するものです。

なお、離島航路については、昨年、重大事故を起こしたことを踏まえ、安全運行の一層の徹底を図っています。同時に、新船の建造に向けた調整を進めており、早期の就航を目指します。

新規事業「第4次ハーモニープラン21の策定」についてですが、現在の計画が本年度に終了するため、男女共同参画社会の実現に向け、社会情勢の変化に対応した新たな計画を策定するものです。

新規事業の「学公連携の推進」ですが、本年3月に、山口県立大学との包括連携協定を締結予定で、「学術機関による専門的な知識」や「新しい考え方・手法」を行政に導入し、地域の活性化のための研究、検討を進めることとしています。

「第4次行政改革への取組み」についてですが、行財政全般に聖域を設けることなく、将来にわたり自立できる足腰の強い防府市としていくため、第4次計画の最終年度として、改革に全力で取り組みます。

拡充事業「地区集会施設の整備支援」についてですが、地域コミュニティ活動がより活発となるよう自治会等の活動拠点の整備を支援するもので、施設の「新築」、「改修」それぞれの補助率及び限度額を拡充するものです。

「公共施設の耐震診断」についてですが、公共施設の安全度向上を図るため、より精密な状況把握が必要な公共施設について、昨年度と今年度の2ヵ年で第2次耐震診断を実施するものです。

拡充事業の「議会インターネット中継の実施」ですが、一般質問に加えて、本会議の中継も実施するものです。

以上、新年度の主な事業について説明しました。

政治・経済・社会情勢が目まぐるしく変化する中ですが、防府市の未来を、しっかりと見据え、立ち止まることなく全力で市政を運営することが私の使命と考えています。市民の皆様の英知と勇気を結集し、自信と誇りのもてる「ふるさと防府」を築いて行く所存ですので、よろしくお願ひします。

2 山口県指定天然記念物 防府市向島の寒桜について

昨年の4月8日付で県指定の天然記念物となりました、向島の寒桜がまもなく開花時期を迎えます。

今年も3月11日（日）に向島蓬莱桜保存会などの主催で「向島蓬莱桜祭」が開催される予定となっています。

年々見学に来られる方が増加していますが、一方で車の駐車や見学時のマナーが問題となっています。

向島小学校の敷地内ですので、見学者の方には児童の安心・安全を一番に配慮いただくようお願ひします。

開花時期には、取材報道方お願ひします。

3 3月の観光行事等について

3月17日（土）に、おいでませ！山口イヤー観光交流キャンペーンオープニングイベント「萩往還開き」の一環として、防府「幸せます」ウォークを開催します。

内容としては、まちの駅「うめてらす」において、10時からオープニングセレモニーを行った後、10時30分から「うめてらす」、「三田尻御船倉跡」、「英雲荘」を巡る語り部ガイドウォークツアーを行うものです。

募集人数は200名で、参加者全員に参加特典も用意されていますので、報道方お願いします。

3月20日（火）から4月20日（金）まで間、防府市観光協会では、桑山公園の桜の開花に合わせてぼんぼりの点灯を行います。

点灯時間は18時から21時までとなっていますので、こちらも取材・報道方お願いします。